



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東
 コード番号 7408 URL https://www.jamco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 恒松 孝一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 夏井 孝之 (TEL) 042-503-9145
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	55,581	25.2	4,672	232.7	3,364	538.6	2,517	98.5
2024年3月期第3四半期	44,392	39.3	1,404	△11.0	526	△60.4	1,267	3.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,407百万円(63.5%) 2024年3月期第3四半期 1,472百万円(△0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	93.75	—
2024年3月期第3四半期	47.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	120,452	17,504	14.5
2024年3月期	108,216	15,071	13.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 17,504百万円 2024年3月期 15,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年1月14日公表の「株式会社BCJ-92による株式会社ジャムコ(証券コード:7408)に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」及び「株式会社BCJ-92による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」並びに「2025年3月期期末配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」のとおり、当社の普通株式に対する公開買付けが開始される予定であることを踏まえ、2025年3月期の期末配当を行わないことを決議いたしました。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,900	35.8	7,810	227.7	5,280	428.1	3,490	104.0	130.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	26,863,974株	2024年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	7,944株	2024年3月期	24,852株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	26,849,267株	2024年3月期3Q	26,833,427株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、依然として高い金利水準が維持されており、又、中国における景気の下振れリスクやアメリカの政策動向など不透明な状況が続いています。このようななかでドル円為替相場は、対米ドル円レート140円台から161円台で推移しました。

航空輸送業界における旅客需要は、国内線に加え国際線においても新型コロナウイルス感染症からの回復を果たし、今後も堅調な成長が見込まれます。その一方で、コロナ禍における急激な需要縮小により毀損したグローバルサプライチェーンは依然として回復途上であり、資材や部品の供給難に加え人員の確保が業界全体の大きな課題となっております。またインフレに伴う人件費・部材費等原価高騰への対応策として、原価管理の重要性がより一層高まっております。

このようななかで当社グループでは、急激な航空旅客需要の回復に対応すべく応需能力の強化に努めると共に、コロナ禍で毀損した財務基盤の回復を目指し「選択と集中による収益力向上と財務基盤強化」に取り組みました。

航空機内装品等製造関連においては、航空機メーカーによる増産やエアラインのスペアパーツ需要の増加に対応すべく、増産体制強化に取り組みました。又、応需能力・サプライチェーンの強化、品質向上、国内製造拠点の最適化を推進しました。

航空機シート等製造関連においては、航空機内装品事業における需要が急拡大していることから、「選択と集中」により、航空機シート事業の開発を伴う受注を一時的に凍結し、開発人員と生産キャパシティを当社の主力である航空機内装品事業に集約しました。

航空機器等製造関連においては、炭素繊維構造部材の増産と防衛案件の拡大に備え、歩留まりの向上や生産工程の改善に取り組みました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組を継続すると共に、ホイール整備における自動化や防衛案件の拡大に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 55,581百万円（前年同四半期比 11,188百万円増）、営業利益 4,672百万円（前年同四半期比 3,268百万円増）、経常利益 3,364百万円（前年同四半期比 2,837百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 2,517百万円（前年同四半期比 1,249百万円増）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末に第4四半期連結会計期間以降の完成工事に対する工事損失引当金を 4,844百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第3四半期連結会計期間において売上原価 775百万円の減少（第2四半期連結会計期間末の工事損失引当金は 5,620百万円）、又、当第3四半期連結累計期間においては売上原価 364百万円の減少（2024年3月期末の工事損失引当金は 5,209百万円）となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、保証工事費、販売手数料、人件費の増加などにより 8,114百万円（前年同四半期比 1,211百万円増）となりました。

営業外損益は、ドル建て支払利息が円安により増加したことなどから 1,308百万円の損（前年同四半期は、877百万円の損）となりました。

特別損益は、原則法適用連結子会社が簡便法適用連結子会社を吸収合併したことに伴い、当該簡便法適用連結子会社における退職給付債務会計の処理方法が簡便法から原則法へとなったことにより、退職給付債務の増加 195百万円を退職給付費用として計上しましたが、一方、投資有価証券の一部を売却したことにより投資有価証券売却益として221百万円を計上したことなどから、66百万円の益（前年同四半期は、63百万円の益）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、運航機数の増加によりエアライン向けスペアパーツ販売が増加したことなどから、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又、経常利益については、販売費及び一般管理費における保証工事費、販売手数料などの増加や営業外損益における支払利息の増加などがありました。採算性の高い製品の出荷が進んだことなどにより前年同四半期に比べ増加しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 36,357百万円（前年同四半期比 8,248百万円増）、経常利益 3,562百万円（前年同四半期比 14百万円増）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、前年同四半期並みの売上高となりました。一方、経常損益については、経常損失ではあるものの、赤字プログラム減少による工事損失引当金繰入額の減少や新規開発を伴う受注の一時凍結による開発コストの抑制などから改善しました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 6,672百万円（前年同四半期比 34百万円減）、経常損失 528百万円（前年同四半期は、経常損失 2,912百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、民間航空機向け炭素繊維構造部材の出荷が増加したことなどから前年同四半期に比べ売上高は増加しました。一方、経常損益については、経常損失となりましたが、採算性向上活動への取組みなどから改善しました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 4,384百万円（前年同四半期比 576百万円増）、経常損失 52百万円（前年同四半期は、経常損失 252百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、部品整備において前期から繰り延べられたプログラムの出荷があったことなどから前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又、経常利益については、売上高の増加などにより前年同四半期に比べ増加となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 8,164百万円（前年同四半期比 2,398百万円増）、経常利益 386百万円（前年同四半期比 240百万円増）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、当社施設内の清掃及び補助的作業等セグメント間の内部取引が中心です。

この結果、その他の区分では、売上高 2百万円（前年同四半期比 0百万円増）、経常損失 4百万円（前年同四半期は、経常損失 2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は120,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,236百万円増加しました。内、流動資産については、現金及び預金の増加(前期末比8,377百万円増)、原材料及び貯蔵品の増加(前期末比2,965百万円増)、商品及び製品の増加(前期末比1,369百万円増)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ12,192百万円増加しました。又、固定資産については、投資その他の資産の減少(前期末比512百万円減)がありましたが、無形固定資産の増加(前期末比350百万円増)、有形固定資産の増加(前期末比205百万円増)により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ43百万円増加しました。負債合計は102,948百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,803百万円増加しました。主な要因は、前受金の増加(前期末比2,481百万円増)、短期借入金の増加(前期末比1,710百万円増)、1年内返済予定の長期借入金の増加(前期末比1,000百万円増)、電子記録債務の増加(前期末比909百万円増)等によるものです。

純資産合計は17,504百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,432百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等によるものです。この結果、自己資本比率は14.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績について、売上高は、内装品セグメントにおけるエアライン向けスペアパーツ販売やエアライン向け既存機の改修事業が好調であるものの、ボーイングによる品質問題及びストライキの影響などから777型機の生産スケジュール遅延や787型機の増産計画の遅れに加えて、材料部品の一部入荷遅れなどにより低調に推移しております。一方で、損益面では、ボーイング向けの売上高が減少したものの、為替レートが計画よりも円安で推移したことや好調なエアライン向けスペアパーツ販売などにより計画通りに推移しています。そのため、2024年5月10日に公表した通期連結業績予想の変更はありません。尚、連結業績予想の前提となる当第4四半期会計期間の為替レートは、足元の状況を踏まえ、140円/米ドルから150円/米ドルとしております。

又、2025年3月期の期末配当は、2025年1月14日に公表した「2025年3月期期末配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」のとおり、当社の普通株式に対する公開買付が開始される予定であることを踏まえ、期末配当を行わないことを決議いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,766,761	15,143,840
受取手形、売掛金及び契約資産	20,317,566	19,948,191
商品及び製品	3,041,281	4,411,025
仕掛品	28,476,150	28,675,247
原材料及び貯蔵品	20,348,479	23,313,594
その他	3,953,664	3,599,443
貸倒引当金	△18,921	△13,443
流動資産合計	82,884,980	95,077,899
固定資産		
有形固定資産	11,437,090	11,642,272
無形固定資産	2,106,641	2,457,032
投資その他の資産	11,788,239	11,275,775
固定資産合計	25,331,970	25,375,079
資産合計	108,216,951	120,452,979
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,951,860	6,813,533
電子記録債務	5,036,497	5,945,706
短期借入金	52,697,000	54,407,850
1年内返済予定の長期借入金	660,000	1,660,000
未払法人税等	183,670	591,491
前受金	7,735,063	10,216,216
賞与引当金	1,348,913	1,077,395
工事損失引当金	5,209,396	4,844,826
その他	4,301,144	6,422,069
流動負債合計	84,123,546	91,979,089
固定負債		
長期借入金	590,000	1,185,000
退職給付に係る負債	6,295,078	6,216,521
損害補償損失引当金	1,130,485	1,181,036
製品保証引当金	572,073	432,928
その他	433,784	1,953,496
固定負債合計	9,021,421	10,968,982
負債合計	93,144,967	102,948,071

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,328,358	4,340,049
利益剰余金	4,530,558	7,047,634
自己株式	△19,966	△6,418
株主資本合計	14,198,844	16,741,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,339	59,016
繰延ヘッジ損益	-	△53,878
為替換算調整勘定	536,216	618,738
退職給付に係る調整累計額	142,583	139,872
その他の包括利益累計額合計	873,139	763,748
純資産合計	15,071,983	17,504,907
負債純資産合計	108,216,951	120,452,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	44,392,984	55,581,494
売上原価	36,084,862	42,793,950
売上総利益	8,308,121	12,787,543
販売費及び一般管理費	6,903,876	8,114,963
営業利益	1,404,245	4,672,579
営業外収益		
受取利息	51,246	71,507
受取配当金	4,220	5,057
為替差益	257,991	269,704
持分法による投資利益	47,934	-
受取保険金	30,521	4,377
助成金収入	78,212	92,059
その他	29,541	49,087
営業外収益合計	499,670	491,794
営業外費用		
支払利息	1,190,365	1,375,113
持分法による投資損失	-	48,115
売掛債権譲渡損	145,377	229,606
支払補償費	13,744	112,261
その他	27,634	35,198
営業外費用合計	1,377,120	1,800,294
経常利益	526,794	3,364,079
特別利益		
固定資産売却益	2,642	58,897
投資有価証券売却益	75,538	221,582
特別利益合計	78,181	280,479
特別損失		
固定資産処分損	14,474	18,143
退職給付費用	-	195,678
特別損失合計	14,474	213,822
税金等調整前四半期純利益	590,501	3,430,737
法人税、住民税及び事業税	86,928	532,195
法人税等調整額	△768,778	381,465
法人税等合計	△681,850	913,661
四半期純利益	1,272,352	2,517,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,410	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,267,941	2,517,075

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,272,352	2,517,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,545	△135,323
繰延ヘッジ損益	33,674	△53,878
為替換算調整勘定	191,096	64,248
退職給付に係る調整額	1,886	△2,711
持分法適用会社に対する持分相当額	△19,975	18,274
その他の包括利益合計	200,136	△109,390
四半期包括利益	1,472,489	2,407,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,425,469	2,407,685
非支配株主に係る四半期包括利益	47,019	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間
(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65号-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,109,328	6,707,433	3,808,062	5,766,180	44,391,005	1,979	44,392,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	195,430	-	499	29,982	225,912	100,120	326,033
計	28,304,759	6,707,433	3,808,561	5,796,163	44,616,918	102,099	44,719,017
セグメント利益 又は損失(△)	3,548,546	△2,912,935	△252,395	146,064	529,280	△2,485	526,794

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。同社は企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、主に当社施設内の清掃及び補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	529,280
「その他」の区分の利益	△2,485
四半期連結損益計算書の経常利益	526,794

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,357,441	6,672,548	4,384,873	8,164,203	55,579,067	2,426	55,581,494
セグメント間の内部 売上高又は振替高	136,339	-	7,014	51,874	195,228	112,792	308,020
計	36,493,780	6,672,548	4,391,888	8,216,077	55,774,295	115,219	55,889,514
セグメント利益 又は損失(△)	3,562,698	△528,001	△52,848	386,980	3,368,829	△4,750	3,364,079

(注) 「その他」の区分には、関係会社の(株)オレンジジャムコの事業を含んでおります。同社は企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、主に当社施設内の清掃及び補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,368,829
「その他」の区分の利益	△4,750
四半期連結損益計算書の経常利益	3,364,079

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,315,397千円	1,557,025千円

(重要な後発事象)

(株式会社BCJ-92による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ)

当社は、2025年1月14日開催の取締役会において、株式会社BCJ-92（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、同日時点における当社の意見として、本公開買付けが開始された場合には、本公開買付けに賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けに応募することを推奨する旨を決議いたしました。なお、上記取締役会決議は、公開買付者が当社株式の全て（但し、当社が所有する自己株式を除きます。）を取得することを目的とした一連の取引（以下「本取引」といいます。）を企図していること、及び本取引を通じて当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細につきましては、2025年1月14日公表の「株式会社 BCJ-92 による株式会社ジャムコ（証券コード：7408）に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」及び「株式会社BCJ-92による当社株券等に対する公開買付けの開始予定に関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」をご参照ください。